



めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 honkou-soudan@at-mhk.jp (メールはこちらにどうぞ)

明蓬館高校は 2009 年 4 月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。毎日通えるスクールコースもあります。インターネットをフルに活用し、定期テストではなく成果物で学習を評価、年4日間安宅の本校にてスクーリング（面接授業）を受ける学習システムです。

何が世の中に貢献できる仕事なのか

校長 日野 公三

ある生徒に、そう聞かれたことがある。
 世の中のルール（規範）を変えるのは、法律をつくれる政治家、法律を運用する国家公務員、地方公務員。法律に関わり、法律を司るのは、弁護士、裁判官、検察官などだ。世の中にない製品やサービスをつくりだし、人々のライフスタイルを一変させることのできる企業家になるのもいいだろう。それらの企業や法人で働くことで世の中に貢献することもできる。直接人の命に関わる医療関係者も大切な仕事だ。自給率 40%前後で世界でも食糧後進国である日本の農業を立て直すのもりっぱな仕事である。何百年の歴史がありながら、廃れゆく職人のわざを受け継ぐのもとても意義ある仕事だ。一人のシンガーの歌が世の中を変えることもある。世の中には無数の仕事がある。どの仕事に就こうとその仕事は尊い。そしてその価値は自分で決めれば良いことである。

来賓受付と控室



在校生が受付係、誘導係、接待係にわかれて参加。



式前の控室光景。
 川崎町、田川市郡、筑豊管内の教育関係者の皆様、地元地域の皆さまの和んだご様子

川崎町本校所属生徒 (3月末現在)			
スクール	ネット	セルフ	合計
30名	41名	9名	80名

全校
 295名

三月十一日 黙とう





校章のコンセプト

めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 honkou-soudan@at-mhk.jp (メールはこちらにどうぞ)

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

巣立ちの時

安宅の梅の蕾がほころんでいる小春日和の3月11日。東北大震災への黙とうから式は始まりました。平成28年度は76名の生徒が明蓬館高校を巣立っていきました。川崎町本校からは24名の生徒が卒業を迎えました。

3年間、無遅刻無欠席で皆勤賞を受賞した生徒。

出産を経験し、子育てと学業を両立させて卒業を迎えた生徒。

回り道をしながら6年間かかってやりたいことをみつけた生徒。

異国の地に3年間単身で留学しバレーを究極まで突き詰めた生徒。

中学まで不登校、引きこもりから少しずつ対人を克服し卒業した生徒。

スクーリング時に寝食共にした、全国・世界にいる卒業生達のことも頭をよぎり、胸が熱くなりました。全日制では学べない多くのことを学べたと答辞で語ってくれました。さらに、自分らしい学びの3年間を送れたとも。

ここ安宅でもひな鳥たちが巣立ちの時を迎えています。

巣立ちゆく卒業生達をこの地で応援しています。

副校長 小賀友子

祝辞



川崎町手島町長、讚井教育長、安宅区中原区長より、「祝辞を賜る。いつもながらの励ましと心温まるお言葉に感銘を受ける。卒業生、職員会場全体が聞き入る時間。」

祝賀会



答辞は東京の音楽大学と京都の芸術大学に進学が決まったふたりから。スクーリングの思い出やバンド部の思い出が・・・

地元のおばちゃんたちが朝早くから作って下さった、お赤飯に散らし寿司に祝い汁。式後は先生、保護者一堂に会して、最後の安宅米をいただく。

卒業証書授与と答辞

